

様式第5号（第5条関係）（用紙 日本産業規格A4縦型）

水源保全地域内開発行為に係る健全な水循環の保全措置計画書

開発行為を行おうとする土地の区域		土地の所在 (地 番)	静岡県富士宮市北山字中井出 2709	地 目	山林	面 積	345㎡
工事中又は 工事後の別	工種	環境要素	影響予測		影響に対する対策		
工事中	土工	⑦	盛土、切土は基本的に想定していないが、基礎工事の際に少量だが掘削を行うため、雨天時に土砂等が流出する可能性がある。		現場内で発生した土砂は、区域内で敷均し、土砂の流出を抑制する。		
工事中・ 工事後	土木工事・ 電気工事	⑨・⑩	施工により工事中の重機音や眺望に変化が発生。		工事中にバックホウ等の特定施設を使用する。その際は振動規制法および騒音規制法の基準値以下での施工を実施する。 眺望については、住宅と隣接しておらず、GL値が住宅より低いことから眺望の変化は住宅が建つと比べ軽微と考える。機器の高さは3m以下である。		
工事後	騒音	⑩	蓄電池およびPCSから機器の音を発する。住民への生活環境への影響が懸念される。		住宅から約50m以上の離隔を確保。また騒音値は騒音規制法に基づく基準値以下で運転を行う。さらに防音壁を事業地内に設置する。住民が感じる音は生活環境を及ぼすことのないように対策を行う。		

(注) 1 環境要素の欄は、次の中から該当する項目を選択し、記載してください。

①地下水の水質の汚濁、②地表水の水質の汚濁、③地盤沈下、④地下水の変化、⑤河川流量の変化、⑥海況の変化、⑦土壌・土砂の流出・堆積、⑧生態系の変化、⑨景観の変化、⑩住民生活の変化、⑪水に関する文化の変化、⑫その他（具体的な要素を記載すること。）

2 影響予測の欄は、開発行為により予測される影響を具体的に記載してください。